

法的形式と外見上では言論自由の日本だが、占領軍以来、実態的にはCIA抑圧にある。この問題抜きに本物の言論、政治の自由と日本解放は無い。癌病巣を解明する！。

上記問題は奴隷日本[2]⑥敵悪魔の言論妨害,テロ,陰謀を明かし,戦う手段を構築する必要がある(b)敵を知る(隠れたテロと脅迫問題):で簡単に言及した。更に煮詰めよう。そも筆者の問題発端は流浪サラマン後の物理学転業後、言論封圧現実に直面、対処に迫られ,20年未だ未解決。

①日本(世界)における言論焦点=言論タブー問題:

(1)昭和天皇戦争責任問題<菊タブー>:

本講座第一回奴隷日本の中で事前に秋丸機関での有沢寛臣経済博士の戦争シミュレーションの結果軍部は日米戦争敗北を承知、その上で「敗戦よりも(国内)革命が恐ろしい」の近衛文麿発言に象徴されるように昭和天皇意思での日米戦争開戦は明らか。そも明治憲法上の軍最高指揮権は天皇にあったのだから法的にも明白。戦後マッカーサが日本統治に天皇利用を陰謀した事が戦後清算を台無しにした。デービッドバーガミニの「天皇の陰謀」はこの問題を真正面から取り上げ、東京裁判の判事ウェブは、この書籍を事前に読んでいたならば東条等の戦犯は無かったの主旨を発言したと言う。この本に関して宮内庁は沈黙したといわれる。昭和天皇はその死で結果無罪放免になった後、日本マスコミは反動に出ているのが実情。平成天皇時代になっても本質は何ら変わらないどころか戦前回帰傾向を強めてる。赤間剛氏は著書=神々の陰謀Ⅲのp221中で、1985年において次の予言をしている。

1980年代にかかる日本の未来がどうなるか？。それは敗戦で壊滅したはずの「古い日本」が復活する道である。財界、即ち6大財閥の上位機関として「持ち株会社」が想定され、議会制民主主義の持つ観念の上に「天皇制」の復活が設置される。<まさか>と思われるかもしれないが、こうした「古い日本」の道が支配層の策す最終的なコースである。

デービッドバーガミニは日本生まれだが米国人。その彼は同書以後言論人を止めざらう得なかった。彼証言によればライシャアワーと米国権力が彼の仕事抑圧に大金を叩いたと言う。この事は天皇制は米国益に欠かせぬ日本支配大メカニズムが証明されてしまう。本論一つ結論は現日本エリートとは米国益に働く事で己身分を庇護されると言う結論が違いない事になる。

(2)筆者の実体験:

事実要点だけ述べるが、米系企業で政治弾圧経験後には常に密偵が周囲にいて監視状態に置かれた事、以後に於いては何かと天皇家存在を示威する警察沙汰もあり、加害者全てが放免と言う無法を多数経験した事である。最近の記憶には業務的緊張状況で犯罪意思皆無にも関わらず巧妙にも犯罪嫌疑”状況”に追い込まれた一件がある。米系企業では人の知らぬ間に悪役にでっち上げられてたのと同様事情が後にも発生の模様だが具体証言が丸でないのだ。過去20年に及ぶ犯罪者全部放免の犯罪被害等のリストに関しては日本弁護士会等に控えがあるはずなので、詳細はそちらに問い合わせると良いだろう。勿論検察に自身で訴訟を持ち込み,不起訴放免の書類もある。注意すべきは右翼筋事件も当初はあったが偽装左翼実働右翼の犯罪が今では殆どと言う巧妙偽装ぶりがある。

(3)政治家も沈黙する背景事情:

日本には一つの占領体制護持に当たる総司令部があり、実時間で問題監視対処に動作してる。それは占領下人脈とCIA網に着いて既に指摘した<奴隷日本の付録3:戦後日本エリートとは日本(国民)を裏切る事で米国から身分庇護される。[1]GHQ占領下人脈(日本裏支配CIA代理人発端と現代日本支配構造の原点)>。それは現場に接する民間人協力者と行政内部協力者たちが底辺の耳手足の正に手先となり、頂点指令で動くと思われる。手先からは頂点は見えてはまずいから間接段階的に中間管理司令部がいく層にも階層構成してるとも見られる。典型

一つは政治警察と民間協力者、及び同じ税で食う行政役人たちになるだろう。筆者の企業潜伏日共組織との関係で米系企業不法政治弾圧経験時にはまず、職探しでは企業間人事連携が見られた。不法の意味は犯罪、個人名誉毀損デマから心理戦で負けないと最後は毒物使用もあった。自室侵入や情報盗聴は日常、おそらく反共に関わる権威筋頂点からの司令部にて動作する反共網が推測できる。同時に警察からは車移動等に関係して圧力を受けた。又商店等まで同じ動作が見られた。この関係から米 CIA-政治警察-民間企業人事反共網がまず決定するだろう。次に大手新聞 TV 報道等が心理戦に大規模に動員されてる。これは既に常識の範疇に属する。会社員から物理学転業でも判明した事多数がある。

②科学基礎、宗教、歴史社会政治経済問題での真理真相タブー:

(1) 10 年間流浪サラリマン後に物理学転業での超基礎論で発見多数個に遭遇。そこでの学会や政界の動きを報告。結果は真相隠蔽に全てが動作した。だから物理学会上層も体制一部、勿論下部には賛同意思を示唆する者も少なくなかったが表沙汰に公言する者なし。然るに国立大学系研究者は反米のはずの日共勢力が根強い。その彼らが右翼同調の反動勢力だった。因みに筆者は日共員でないが、日共傘下の民商で物理転業前に仕事をした事すらある。という事は相互信頼関係があるとは言わずとも敵対関係確定でもなかった事になる。これで自分は外資企業での真相が読めた。偽装闘争であり、日共は戦後 GHQ 解放以来の関係がある事に。日本の戦後右翼は大概が意識無意識に関わらず CIA コネにあるだろう。

(2) 自分は子供時代から社会党支持者で通うな時によく永田町等に出向き国会議員複数とも相談した経験があるが、結果はなかった。当時自分は①(3)体験もあり戦後日本の歴史裏側をも文献調査し始めると当時識者複数の認識には確かに正確なものもあり、初めて自分は日本裏側事情の統合的解釈=陰謀歴史論に到達した。当然それら報告は社会党に送付された。但し当初報告は文献情報で世界はユダヤ支配と言う出版会デマに騙される大ミスを犯す。但し CIA-福田系軍需派視点は小泉正体暴露では先陣を切ったと自負できる。彼らも日米安保廃棄で戦後以来、敵と対峙してきたのだから真相熟知のはずがミスすら指摘がなかった?。一部正解もあったのだろう。95 年村山政権を花道と地獄街道並列で社会党は潰される。当時は阪神大震災とつづくオーム事件では世相が暗くなった。だがそこで大秘密もばれる。95 年夏から自宅前掲示板にて時事問題解析工房の論評を掲示する。当初ではスタンガンでの記憶障害後遺症になるテロ被害の勲章も頂いてます。筆者頭脳には睡眠妨害では多大な賞賛も頂いております。なほ当工房は本年 6 月ようやく web サイト移転。

(3) <本項目は政治とは直接ずれるが本質は重大問題>.

かように学会や政界にも歩いた時期が 10 年前からあったが結果は無だった。その後に経済封鎖が強化されて実態は横須賀市に極貧軟禁状態になった。そこで外交不可なので特殊電力技術開発基礎論も並行した(B 波電力工房)。これは某研究者の示唆によるし、基礎物理学延長上の仕事になる。然るに 2004 年年末にある理論確認実験に実質成功<実験セット材料代は 1 万円でお釣!、測定器等は相応だが総じて格安>..だが前記政治問題もたたってか、学会や企業からは興味有の姿勢は薄々伺えたが、不幸にも実働にない。この主題は本 web サイト付帯で今後技術公開予定、それ以前に郵送で既に国内世界公開済み。

発電機実用化での困難は誘電体材料(現状はタダの水使用)にあるが、筆者には手が出ない。

☞: 本件技術は別名スカラー波発電(元祖 N テスラ=現代交流発電の始祖)と呼び、常識を覆して $0 = +E(\text{正值電力}) - E(\text{負値重力場エネルギー})$ のエネルギー保存法則に従う無からの電力創生。現象論的には標準量子電磁力学で動作説明可、本源的には量子重力力学要。実験では水を使用の結果、水分子の連鎖乱雑配向性で問題の電位波動が散乱減衰して発電効率悪化。それでも実質的に臨界出力達成!。セット調整の上でデモ実験できます。

(4)科学基礎、宗教、歴史社会政治経済問題での真理真相タブー:

上記記載で読者は日本エリートが実態は米国の奴隷頭に過ぎない事を見たと思う。なぜならば彼らは我々奴隷の救済に現状では実働して無いからだ。だが慌てる事は無いと思われる。筆者自身の世界日本の真相について核心を突く解釈にはまだ欠落した大問題があった。それは本講座一回で提示した現世界サタン支配論にある。これは昨年夏にコラン解説で判明。当初は世界の市民運動団体に論文郵送されたが、反応なしの内に筆者は疾病で年末休業化。実質回復には半年を要した。6月末に上記項目主題にて本 web サイト掲載となった。従って今しばらく情報拡散と意識団結熟成には時間も必要と見られる。

③言論封圧に対する脅迫テロ問題:

要するに過去のエリート達は彼ら談合沈黙で保身を貫いてきた。だが、時代も変化した。

結論を言えば敵は我々内部にあるのであり、CIA 網も我々隣人がその協力者である事だ。

彼ら自身も詐欺騙しにあるのだから、本サイト主旨を了解すれば事態は一変する。だが頑迷に敵側であがく愚か者多数も確か。既に述べた事もあるがその事情を解析しよう。

- (1)利己主義小心で、かつ温室的保守的組織に長年の安泰にあり、かつ過去に敵加勢の犯罪歴を持つエリート組織集団。集団心理になると自己責任感が欠落、反省がない。あのオームは高学歴エリート多数を信者に抱えたが、彼らは教祖麻原崇拜で、又高級な洗脳技術も有った模様で、明白な犯罪に対して高慢極地の犯罪多数を重ねた。問題集団には形態は違えど似た事情がある。かつて三菱自工の欠陥車隠し多数が発覚した事例がある。組織の三菱実態が白日化した事件。社員は秘密隠しに奔走、丸でユーザーに対する責任感欠落。自分内部の事しか念頭に無いのだ。本論で再々指摘する事になった日本人特有の組織に責任転嫁の甘えの構造の恐ろしさを今一度認識すべきである。最終的には個人責任は逃れがたいのである。なぜならば罪の意識があるのだから。それを組織や指導者に転嫁で済む問題ではない。
- (2)結論から言えば税金で食ってる組織集団とその周辺(三菱は最大官庁系企業)が圧倒的。筆頭は政治警察、行政が最大問題。実は旧社会系、現社民党系にはあの腐敗堕落社保庁も含む自治労がある。日共系も行政に深く食い込んでいる。つまり自称左翼全滅と言う次第。

(3)最も国民接点として最大問題はマスコミ報道筋。

彼らがある意味で国民脅迫に当たってるからだ。彼等は現状では忠実な CIA 傘下にある。この裏切りこそが戦後日本を駄目にしたとしても過言にならない。だが状況は変化してる。

- (4)本質的な問題は勿論米国の日本植民地統制にある。然るに対米姿勢に筋金を持って当たるのが勝利の論理。その意味は対米資本輸出等にある。これが止まると米は破綻する。阪神大震災が米国の地震兵器使用の嫌疑も従来から取りざたされてきた。となると日米関係は宣戦布告なき隠れた戦争状態。それにつけて対米協力は外患罪という重罪にも成る。これらは米断交を意味してはいない。世界が変わるには米市民行動が核心になるからだ。

- (5)奴隷日本人一般はひたすら政治解決を求めている。なぜならば個人努力ではもはや解消しない問題ばかりが残ったからだ。だから次の選挙が山場になるだろう。
- (6)最期事項として敵は必ず、我々が政治を握った時、仲間分断の策に出て苦しめる筈だから、そのとき利己主義分裂しないで団結護持ができる覚悟が必要と言う事に尽きる。
- (7)テロ問題最終解決は我々個人の真実真相に対する認識をまず深め、かつ最終的に仲間たちとそれを共有する事での団結規模次第と言う話になる。大同団結なれば即座に勝利！。分裂目的の為にテロが動作するのだから。